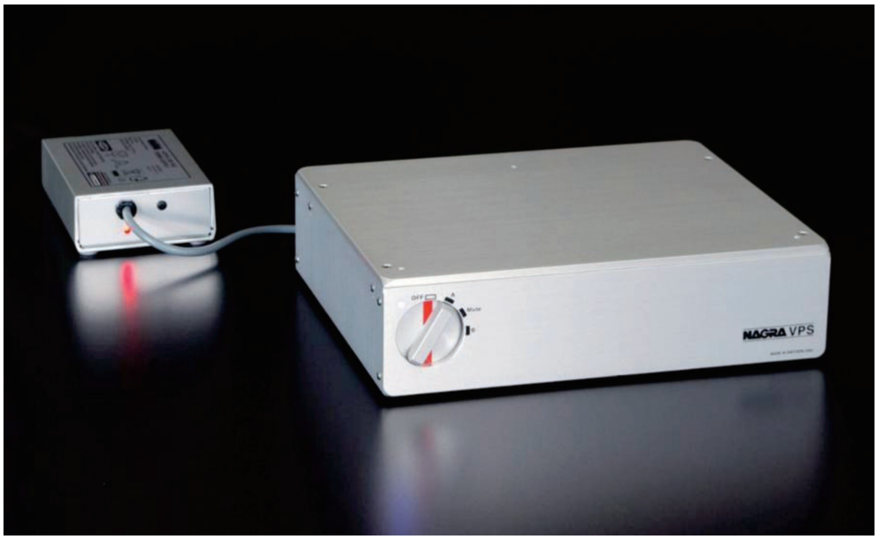
NAGRA

VPS

(Phono Preamplifier)

取扱説明書



株式会社 太陽インターナショナル
〒103-0027　東京都中央区日本橋 2-12-9
Tel : 03-6225-2777　Fax : 03-6225-2778
<URL> http://www.taiyo-international.com

目次

安全のための重要な注意事項 2
＜保護＞ 2
1. はじめに 3
2. パッケージ内容 4
3. 設置 5
設置位置 5
4. 結線 5
パワーサプライを繋ぐ 5
グラウンドコネクターの使用 5
5. リアパネル / 接続部 6
6. フロントパネル 7
メインセレクター 7
7. VPS ブロックダイアグラム 8
8. 内部での設定変更 9
VPS を開ける 9
9. フォノモジュール 9
初期設定 9
10. ジャンパー機能 10
負荷回路 10
負荷回路の設置 10
ゲイン選択 10
11. RIAA 11
外部トランスの使用 12
真空管のエイジング 12
ケースのクリーニング 12
12. アフターサービスについて 13
13. 仕様 14
14. 問い合わせ先 15

安全のための重要な注意事項

＜保護＞

★ この説明書には本機の正しいセットアップと使用法が書かれています。本機をセットアップまたは使用する前に必ず最後までお読み下さい。故障につながるような誤用の場合は、保証期間中であっても保証いたしかねますのでご注意下さい。

1. はじめに

ナグラ VPS をお買い上げ頂きまして、ありがとうございます。

VPS はプロオーディオ、国家安全保障、軍事産業などにおいて半世紀の経験を持つクデルスキーグループのエンジニアチームによって設計、制作、製造された世界最高水準の製品です。

1951 年の創業以来、ナグラは音質の絶対評価において、信頼された製品をお届けしてまいりました。その製品に対しては数多くの賞を頂いておりますが、アカデミー賞オスカーを3回、エミー賞を1回は特筆に値するものと自負致しております。

ハイファイ製品や現場録音機は同一のエンジニアリングチームによって制作されました。ナグラの制作哲学は技術革新と最新技術を高品質製品の製造において惜しげもなく使用することでもあります。ハイエンドオーディオ製品は確信的なデザインによって、ナグラ独自の専門知識の新たな活躍分野を目指します。

ナグラ製品をお求めくださいまして、心より深謝申し上げます。

2. パッケージ内容

VPS は一つのパッケージに梱包されています。
ユーザーマニュアルのほかに次のパーツが梱包されております。

・AC 電源ケーブル
・3P アダプタ
・ACPS II 外部パワーサプライ
・プラスティック製ジャンパー（12 個）
・ジャンパー用プライヤー
・抵抗回路（6個・箱入り）
・負荷抵抗回路用スペーサーネジ

注意 : 付属の AC 電源ケーブルは、本機 専用ケーブルですので他の機器に使用しないで下さい。

開梱後のカートンケース、及び内部パッキン等は、後日の修理及びお引越等で輸送される場合に備えてお手元に保管されるようお勧めします。

※ 本製品はナグラ社、及び当社において外観、機能ともに入念な検査を重ねて出荷しておりますが、輸送中などの万一のトラブルを考え、ご使用になる前にどこかに損傷がないかを必ずご確認ください。また到着したアンプが正しく作動しないときは、すぐお買い求めの販売店までご連絡ください。

3. 設置

設置位置

常識的に、湿気、雨などのかかからないところに設置します。

ナグラ専用のスパイク（オプション、別売）をナグラ社製の専用ベース VFS（別売）と合わせてご使用になると安全且つ最高度の性能を引き出せます。

VPS の天板にはナグラアイソレーションスパイクが納まる位置が刻まれています。
このスパイクキットは VPS、CDC、CDP、CDT、PL-L、PL-P にフィットします。

4. 結線

パワーサプライを繋ぐ

フロントパネルのセレクターは OFF の位置にし、パワーサプライ ACPS II からの DC 電源ケーブルにある LEMO プラグを VPS 電源入力（Power In）に差し込みます。

LEMO ピンの赤点が上にあることを確認し、LEMO プラグを VPS 本体に差し込みます。
カチッと音がしてロックします。

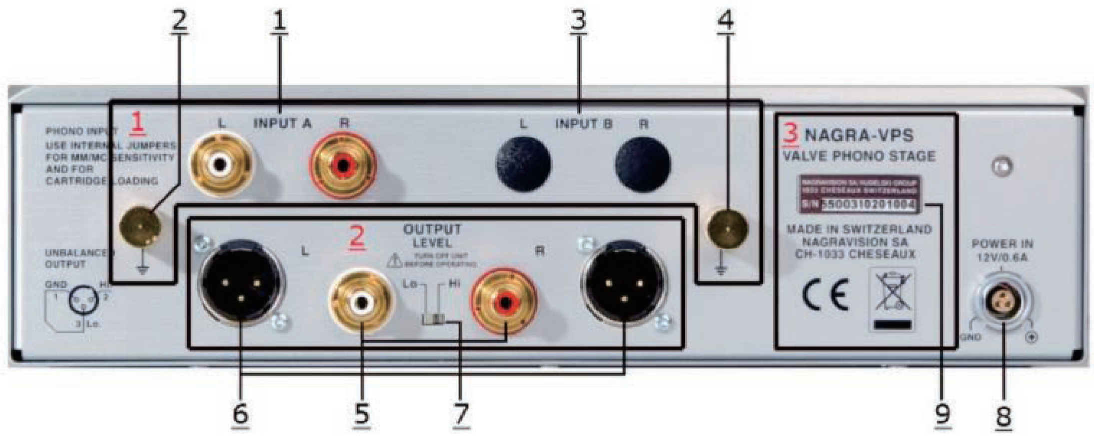
LEMO プラグを差し込んだ後、ACPS II に AC ケーブルを差し込みます。電気が入ると赤い LED が点灯します。LED が点灯しない場合にはもう一度結線状態を確認ください。

LEMO プラグを外す際には、左図のように滑り止めのある部分を持って手前に引きます。

グラウンドコネクターの使用

VPS リアパネルのグラウンドコネクターとターンテーブルからのグラウンドケーブルを繋ぎます。
この接続は必ずしも必要とされない場合もあることを念頭に置いてください。ターンテーブルシステム、アーム、カートリッジなど、ご使用機器の特性によります。

5. リアパネル / 接続部



＜(1) フォノ入力部＞

1..... 入力 A（Input A）：標準仕様として MC モジュールが装備されています

2..... A モジュール用グラウンド

3..... 入力 B（Input B）：オプションで MM または MC モジュールを追加する ための予備スペース

4..... B モジュール用グラウンド

＜(2) 出力部＞

5..... RCA 出力

6..... XLR 出力（ハイエンドアンプには XLR 入力のみが装備されているものもあります。この XLR 出力は RCA 信号を XLR コネクターに改造したもので、シングルエンドです）

7..... 低出力、高出力のレベル切り替えスイッチ

8..... LEMO パワー入力

＜(3) ID プレート＞

9..... シリアル番号

ターンテーブルから VPS の接続は出来るだけ短いケーブルで接続します。ループ、不要な折り曲げ等が発生しないためです。

RCA, XLR は PL–L, PL–P に接続できます。

<u>ご注意 :XLR, RCA を同時に使用しないこと。</u>

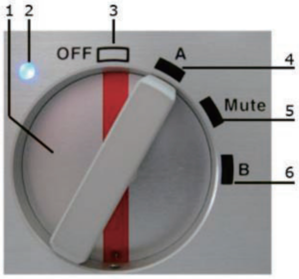
VPS の性能を最大限に発揮するには、電源を立ち上げてから 30 分ほどお待ちください。内部の部品が最適運転温度になります。

真空管機器と同様、ナグラ VPS はバーンインが必要です。数時間のご使用の後、VPS は最高度の性能を発揮します。

6. フロントパネル

1 .... メインコントロール
2 .... LED

メインセレクター



1 .... メインセレクター
2 .... LED
3 .... 電源 OFF/ スタンバイ
4 .... フォノ入力 A
5 .... ミュート
6 .... フォノ入力 B

スタンドバイモードでの消費電力は微少です。

VPS はスイッチを回して入力 A か入力 B にダイアルを合わせることで作動し始めます。真空管は 90 秒間プレヒートされますが、この間は VPS はミュート状態で、LED は点滅します。

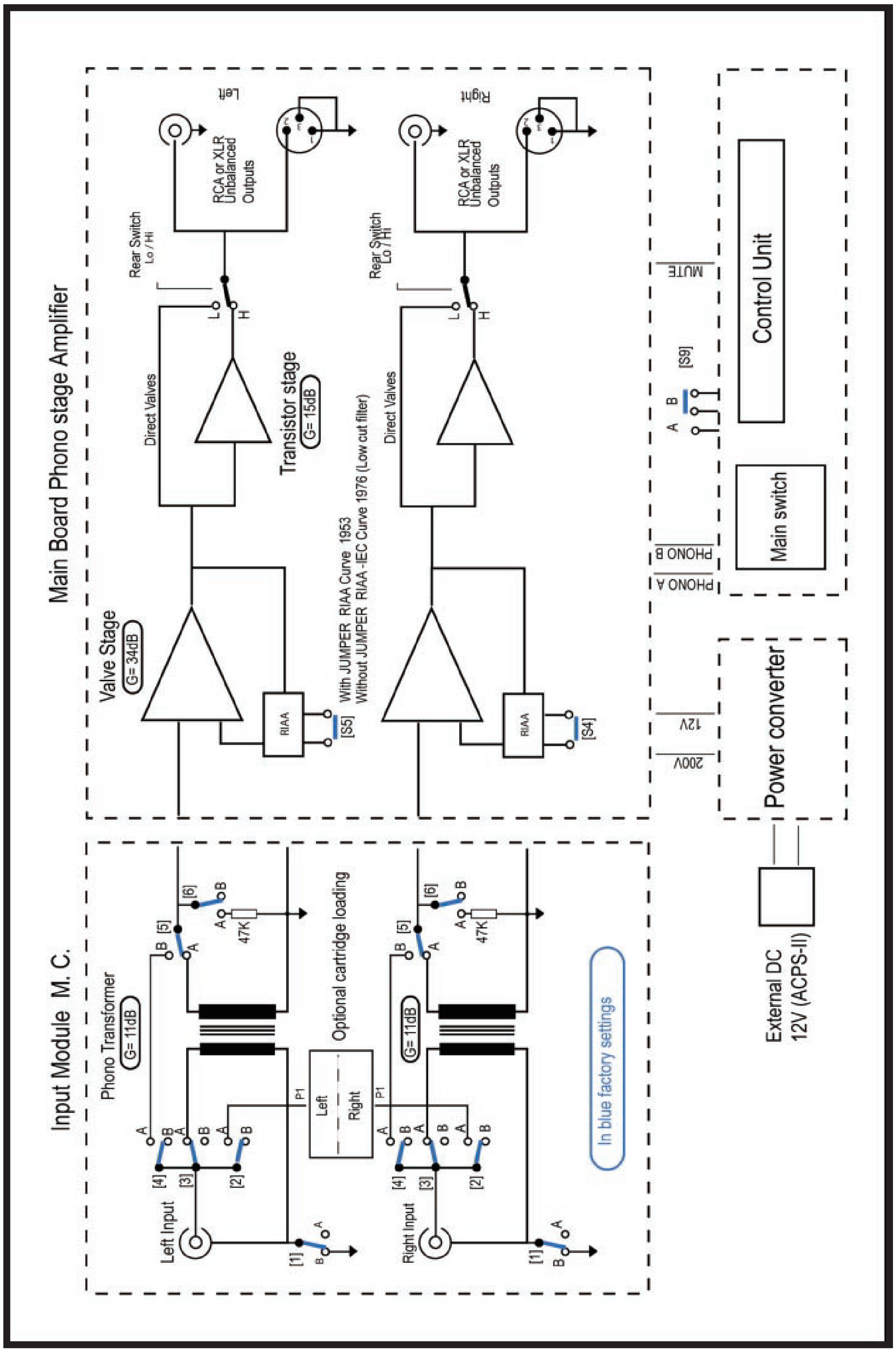
注意 : 間違ってオフ (OFF) にスイッチを回した場合には、その位置にある時間が 90 秒以内であればプレヒートはされません。

A, OFF, B と回しますと、3 秒間の切り替えディレイが発生します。これはノイズの発生を防ぐためです。

7. VPS ブロックダイアグラム

信号経路を示すダイアグラムをご紹介します。

左側はインプットモジュール（MC）で、A または B の入力回路です。右側はメインボードの増幅回路を搭載したもので、VPS のメインボードです。



8. 内部での設定変更

VPS を開ける

<u>注意 : 内部設定の変更をするために VPS の天板を開ける場合、10 分前には完全に AC 電源コードを抜き取き、電源を切ってください。</u>

天板の四隅にあるネジを付属の六角レンチを使用して外します。

天板を閉める際にはアイソレーションスパイクが納まるスロット二つが前に来る (中央部一つのスロットが後ろ) ようにします。それによって、図のような書き取り部分が真空管の真上に来ます。

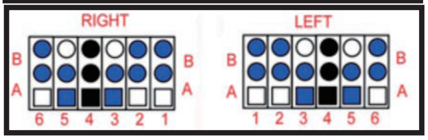
9. フォノモジュール

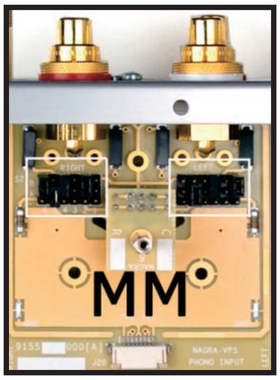
VPS は MC カートリッジ用のフォノステージが入力 A に付属しています。オプションで MM, または MC 用フォノステージを入力 B に追加できます。

初期設定

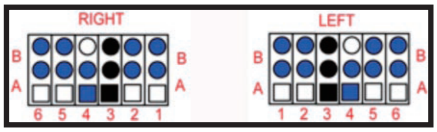
工場出荷時の初期設定は付属カードに青で表記されています。

1- B : アンバランス入力
2- B : 追加モジュール無し
3- A : MC 入力
4- AB : 接続されていません
5- A : 内部トランス経由
6- B : 47kΩ 抵抗無し





1- B : アンバランス入力
2- B : 追加モジュール無し
3- AB : 接続されていません
4- A : MM 入力
5- B : トランス無し
6- B : 47kΩ 抵抗無し



10. ジャンパー機能

VPS の性能を最大限に引き出すには、低レベルでデリケートなフォノ信号の経路を最短距離に保つことが欠かせません。それ故、ジャンパーは非常に窮屈で、入力に近く位置しているのです。

設定などの煩雑さは VPS の質を高めるためにある、とご理解いただければ幸いです。

ジャンパーをセットする際は、フォノモジュールに面してください。アクセスが簡単で、レタリングがよく見えます。

備え付けのジャンパープライヤーをご使用ください。

1. バランス (A) またはアンバランス入力を選択。(位置 B で、一方のトランス入力はアースされます。)
2. 追加負荷抵抗を使用する (A) か、使用しないか (B) を選択。
3. A は MC カートリッジ、B はそれを使用しないときに。
4. A は MM カートリッジ B はそれを使用しないときに。
5. A は内部トランスを使用する、B は外部トランスを使用する (P12 参照)
6. A は追加 47kΩ 負荷を真空管入力に架ける場合、B は追加 47kΩ を負荷しない場合。

負荷回路

VPS は六種類の負荷回路が付属しています。3 種類の抵抗負荷 (R) と 3 種類の負荷キャパシタンス (C) で、VPS をご使用のカートリッジスペックに可能な限りマッチさせることを意図しています。

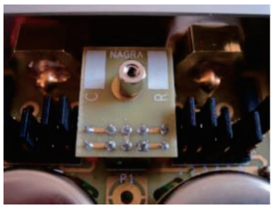
各入力モジュールにはナグラはご指定いただいた 3 種の負荷回路をご提供します。お求めの販売店に詳しくはお問い合わせください。お買い求めから一定期間経ちますとこのオプションは有償となります。

各回路は正確に負荷数値が計測されマッチしております。

カートリッジのデータシートに基づいて適切な数値をお選びください。カスタム回路をお待ちの間、最もそれに近い抵抗値をお使いになって何ら不都合はございません。

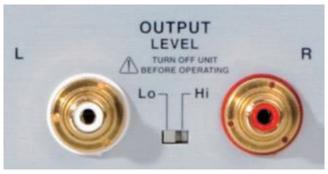
負荷回路の設置

フォノカードの定められたところに負荷回路を入れる。スペーサーネジを手で締める。



ゲイン選択

VPS の出力電圧は 300mV(Lo), 2V(Hi) の選択がスイッチで行えます。



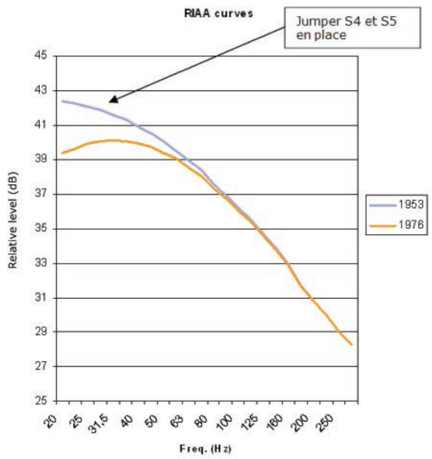
Lo の位置では、出力は真空管に直接接続されます。最大出力レベルは 300mV です。

もしご使用のカートリッジ、又はプリアンプに十分なゲインが無ければ、Hi 設定にして出力を高められます。この選択によってディスクリートの増幅ステージを使用し、出力を 2V まで高めます。

注意 : ゲイン設定を変更するときは必ずプリアンプ、プリメインアンプをミュートしてください。

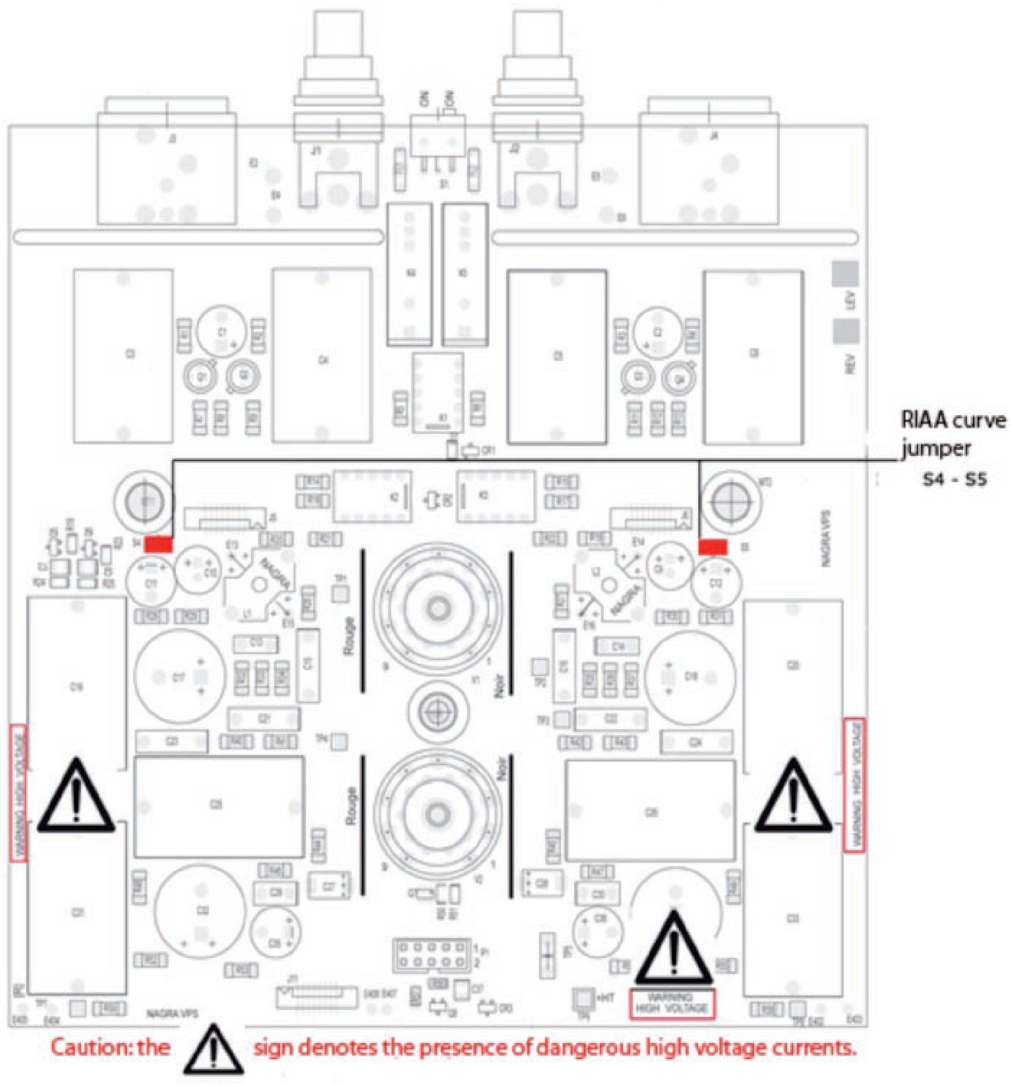
11. RIAA

VPS のメインボードにあるジャンパーを差し替えることで RIAA カーブを変更できます。VPS は 1953,1976 年の RIAA カーブに従って設定されています。



工場出荷では、S4, S5 ジャンパーが設定されていますが、これによって低域を伸ばしています。

ターンテーブルのワウノイズが聞こえる場合には、S4,S5 ジャンパーを取り去ることで低域を消音させることが出来ます。この位置は 1976RIAA-IEC カーブにマッチします。プラッターがノイズを発生させやすい軽量級のプレーヤー向きです。



外部トランスの使用

VPS に外部トランスを接続して使用することも出来ます。この場合には MC カードにある「内部トランスを使用しない」設定に変更します。
設定は以下の通りです :1 B, 3 B, 4 A, 5 B

MM カードでは外部トランスを直接接続できます。ジャンパーは既に外部トランスを使用しても構わない位置にセットされています。

真空管のエイジング

ナグラは慎重に使用する真空管を選別しております。最短の使用可能時間は理論値では 5000 時間です。ただし、実際には真空管には 10000 時間以上も使用に耐えるものもあるのです。
ですから、真空管の寿命は予測不能と申し上げて良いでしょう。5000 時間で真空管を取り替えるよりも、ナグラは真空管の取り替え時期のサインを調べることをお勧めします。
以下の症状が現れたときは真空管の交換をご検討ください。

- 聴感上でのひずみ感の増加
- クリックの存在 (枯れ木を折るような乾ききった短時間のノイズ)
- ポッと言う音、ボッと言うような低域での瞬時のノイズ
- ヒス、高域のバックグラウンドノイズ

ナグラでは交換用の真空管キットを用意しております。

ケースのクリーニング

柔らかく若干湿り気のあるスムーズな布でクリーニングしてください。洗浄剤は腐食を促進するものもありますので、ご使用にならないでください。

12. アフターサービスについて

・同封の保証登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後１０日以内にご返送ください。折り返し当社発行の保証書をお送りいたします。規定通りの手続きをなさらないと、保証期間内でも有償修理となる恐れがありますので、ご注意ください。なお、「保証書」は製品無償修理の際、必ず必要となりますので、お客様ご自身で記載内容をご確認の上、大切に保存してください。

・保証期間はお買い上げより1年です。保証期間内に正常なご使用状態で起きた故障等は保証書記載事項に基づき、無償修理いたします。

・故障と思われる場合にはこの取扱説明書をよくお読みになり、再度接続と各部の動作、点検をしていただきなお異常のある場合には、お買い求めの販売店、又は当社サービス課までご連絡いただき、修理をご依頼ください。

13. 仕様

トランス比	11dB
真空管ステージのゲイン	34dB
ソリッドステートステージゲイン	15dB
周波数帯域	20Hz (+1dB) ～ 30kHz (0dB) RIAA
S/N 比	77dB 以上 （ASA A）
THD+N	0.15% 以下 （Hi 出力にて測定）
クロストーク	60dB
出力	300mV(Lo), 2V(Hi)
外部電源	12V DC
消費電力	4.5W
重量	3.3kg
サイズ	310(W)×254(D)×76(H)mm

※本機の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

7. 問い合わせ先

株式会社 太陽インターナショナル

〒103-0027
東京都中央区日本橋 2-12-9
日本橋グレイス 1F
TEL： 03-6225-2777（代表）
03-6225-2779（サービス課）
FAX： 03-6225-2778
ホームページ： http://www.taiyo-international.com